

温暖化防止

2015年度目標と実績

当社は、「2015年環境取り組みプラン」に基づき、2012年度までは、京都議定書目標より高い「1990年比10%削減」を目指して、活動に取り組んできました。

2013年度以降は、社内目標として、生産量当たり排出量前年比1%削減に取り組んでいます。

項目	2015年度目標(社内)	実績
CO ₂ 総排出量	635千t-CO ₂ /年	602千t-CO ₂ /年

オフィス省エネ

2008年から取り組んでいる「オフィス省エネ」。2015年度は下記の活動を実施しました。

①夏季・冬季の電力低減対策

- ・クールビズの推進(設定温度28℃)
- ・ウォームビズの推進(設定温度19℃)
- ・鍛造事務所の省エネ空調化



②その他

- ・エコライフ推進員全員による合同省エネパトロール(12月)
- ・環境月間(6月)、省エネ月間(2月)の社内広報

顧客からの評価収集

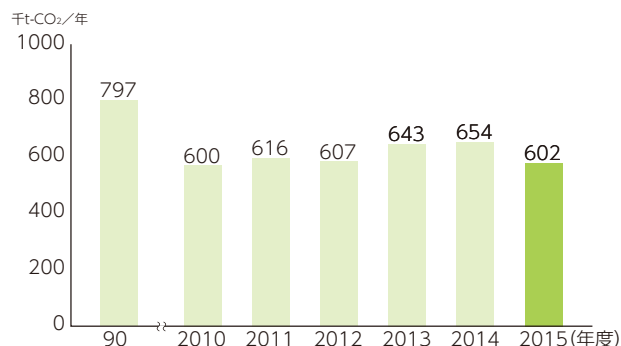
2006年4月に改正された省エネ法^{※1}に基づき、生産活動の中のモノの流れを把握し、問題点を見直すことで、環境にやさしいムダのない物流システムを構築する環境改善活動に取り組んでいます。具体的には「発送費M3活動^{※2}」で構外物流の動線を見える化し、「逆流」「2重倉庫」「モーダルシフト」の視点から物流改善を推進しています。

2006年から2015年までに物流のCO₂原単位を14%削減することができました。

※1 改正省エネ法…荷主に対して、毎年1%のCO₂原単位削減計画と、原単位実績の定期報告が義務化。

※2 発送費M3活動…製品の運搬経路とコストを見える化し、物流ロスを撲滅する活動。

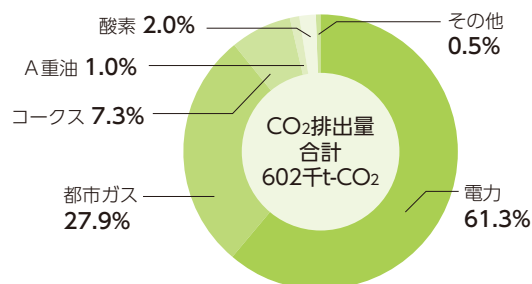
CO₂総排出量



オフィス部門のCO₂排出量推移



2015年度のエネルギー使用量(CO₂排出量)内訳



CO₂収支

2014年度実績	654 千t-CO ₂ /年
2015年度実績	602 千t-CO ₂ /年

'14年度比増加の内訳

減産による減少(2棒加熱炉事故等)	▲58.0 千t-CO ₂ /年
改善項目(A)-増加要因(B)	6.0 千t-CO ₂ /年
合計	▲52.0 千t-CO ₂ /年

改善項目(A)

①圧延加熱炉の冷却水損失低減等	7.2 千t-CO ₂ /年
②ステンレス鋼熱処理炉の燃料転換等	1.5 千t-CO ₂ /年
③鍛造加熱炉(IH炉)の効率改善等	0.8 千t-CO ₂ /年
合計	9.5 千t-CO ₂ /年

増加要因(B)

①製鋼操業変更	12.5 千t-CO ₂ /年
②都市ガス熱量変更	2.1 千t-CO ₂ /年
③ステンレス形鋼圧延の操業変更	0.9 千t-CO ₂ /年
合計	15.5 千t-CO ₂ /年